公益社団法人日本スカッシュ協会
中期活動目標（2016年～2021年）

公益社団法人日本スカッシュ協会

Japan Squash Association

公益社団法人日本スカッシュ協会は昭和46年（1971年）2月10日の設立以来、「日本全国のスカッシュ競技を統括し、国際的なルールに則った正しく安全なスカッシュ競技の普及、競技力向上、競技大会の開催、その他振興の為の事業」を推進して平成28年（2016年）には協会創立45周年を迎えようとしています。

その中で2020年開催の東京オリンピック追加種目入りは果たせませんでしたが、新たに入門プログラム＜スポーツ・ラボ＞の可能性が高まっています。これを一つの区切りととらえ、2016年度からの中期活動目標を作成いたしました。

これまでの反省と経験を生かした集大成として、スカッシュの更なる普及とスポーツ・ラボの実現と成功に向けて以下の目標を上げて活動してまいります。

1. 世界の舞台で活躍出来る選手の育成強化
2. SNSを活用した広報活動の拡充
3. 施設やイベントを充実させて一層の普及を図る
4. スポンサー・寄附金等による活動資金の確保
5. 日本体育協会正式加盟の上、国民体育大会入りを目指す
6. 魅力ある演出で日本開催の国際大会を盛り上げる

1.世界の舞台で活躍出来る選手の育成強化

- 次オリンピック世代の選手の発掘育成

  ☆JSAジュニアスカウトセレクションの継続実施

  ☆幅広いスポーツ界からの人材発掘

  ☆JSAジュニア強化合宿等の実施

- アクションプラン強化選手（ジュニアを含む）を中心とした選手強化

  ☆国内及び海外にての選手強化合宿の実施

  ☆海外大会への派遣及び支援の継続

- 選手強化に携われる人材（コーチ）の育成

  ☆海外コーチの招聘

  ☆世界スカッシュ連盟の資格保持コーチの養成

  ☆コーチ講習会及びワークショップの継続的開催

- レフリー内容の充実

  ☆JSA公認レフリー講習会の全国的開催

  ☆3人審判制等レフリー内容の充実

1.世界の舞台で活躍出来る選手の育成強化

・ナショナルチーム強化目標

＜2016年度＞アジア選手権団体戦　女子3位
世界ジュニア個人戦　男女ベスト8（2名）
アジアジュニア個人戦　女子U19ベスト4（1名）

＜2017年度＞アジア選手権個人戦　女子ベスト8
世界ジュニア個人戦　女子ベスト4（1名）
アジアジュニア個人戦　女子U19優勝（1名）

＜2018年度＞アジア選手権団体戦　男子5位・女子3位
東アジア選手権（日本開催）　優勝
アジア競技大会　女子団体戦メダル獲得

＜2019年度＞アジア選手権個人戦　男子ベスト8・女子ベスト4

＜2020年度＞アジア選手権団体戦　女子3位

＜2021年度＞アジア選手権個人戦　男女個人メダル獲得

2.SNSを活用した広報活動の拡充

- 協会ホームページのリニューアル

  ☆よりわかりやすいホームページへ

- SNS等を通じた積極的な情報発信

  ☆世界や日本での選手の活躍を積極的に発信

  ☆スカッシュ選手の情報や魅力をマスコミに発信

- 大会のテレビ中継を目指す

  ☆大会等における動画配信を拡充

  ☆国際大会のテレビ中継の実現

- マスコミとの定期的な情報交換と体験会の実施

  ☆マスコミとの体験会・情報交換会を開催

3.施設やイベントを充実させて一層の普及を図る

- **スカッシュコート存続の為の対策**

  ☆スポーツクラブインストラクターへの無料講習の実施

  ☆全国スカッシュコートの共通利用システムの構築

  ☆エアースカッシュキャラバンから既存コートへの誘導

- **新規コート設置への積極的な活動**

  ☆全国の自治体へスカッシュコート設置をアピール

  ☆全国展開の大型量販店等にスカッシュスクール設置を提案

  ☆ナショナルコート設置に向けての活動を継続

- **エアースカッシュキャラバンによる全国普及の拡充**

  ☆全国の学校体育館や自治体施設等での開催

  ☆他スポーツイベントでのエアースカッシュキャラバンの実施

4.スポンサー・寄附金等による活動資金の確保

- 広告代理店と連携してインターネットを通じての寄附金集め
- アフィリエイトを利用した活動資金の調達
- 公益法人の税制優遇措置を生かした寄附金援助
- 企業向け年間協賛の募集継続
- 企業だけでなく個人向け年間協賛の募集
- スカッシュサポーターの拡大
- 助成金、補助金の継続的確保

5.公益財団法人日本体育協会正式加盟の上、国民体育大会入りを目指す。

＜2016年～2017年＞

☆地区支部と連携して都道府県支部の整備を図る

☆全国の都道府県体協への加盟条件を調査する

☆体協加盟の他団体のヒアリングをする

＜2018年～2020年＞

☆10以上の都道府県支部の設立

☆数件以上の都道府県体育協会加盟

＜2021年＞

☆公益財団法人日本体育協会への正式加盟申請

◆国民体育大会のデモンストレーション競技実施

◆スポーツ庁やＪＯＣ等の全国イベントへの積極的参加

6.魅力ある演出で日本開催の国際大会を盛り上げる

- **2018年東アジア選手権の日本開催**

☆メディアへ情報連携し、大会の知名度アップ

- **2020年東京五輪入門プログラム（スポーツ・ラボ）の実現**

☆2016年8月実行委員会を設置して、開催地の検討や資金集めを始動

☆４面ガラスコートによる映像演出の企画

☆開催地で大会等を実施し、スカッシュをアピール

☆ジャパンオープン等の国際大会の開催

- **2021年関西ワールドマスターズゲームズのスカッシュ競技運営**

☆関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会との連携強化

☆国内プレーヤーへの参加の促進